

QUICK SHIP

vol. 14

取締役就任のご挨拶

6月の株主総会にて、取締役に就任致しました。代表として、当社ニッセイエコの繁栄だけでなく、グループ会社であります中国、ベトナム、タイ、インドネシアの各製造拠点の発展に全力を尽くす次第であります。

走りながら考える

さて、当社は今期から大々的な社内改革に取り組んでおり、社内の「若返り」をスローガンに、若者の育成を第一に考え、「しがらみを断つ」を目指しております。その一つが、30代を中心にした5名の執行役員の任命にあります。若さ故、多少荒削りの部分はありますが、そのスピード感には目を見張るものがあり、トップからの指示を忠実に守るだけでなく、末端社員への伝達速度も以前より格段に上がりました。

創業当時は、高度経済成長期で、ちょうど20代、30代の若者たちが寝る間も惜しんで働き、技術の構築に取り組んで来ました。その技術力が、今日の日本のブランド力を高め、世界の先頭を先駆ける結果を生みました。しかし、その勢いもバブル崩壊と共に年齢を増した体に、少しずつ疲れが出始めていると感じております。

それであれば、なおさら創業当時に戻って、若い力、若い知恵を思う存分に発揮すべきであります。

若者にチャンスを与え責任を任せる

今年インドネシアの工場立上げの責任者として、28歳の若者を起用しました。彼自身、工場建築は初めてであり、四苦八苦しながらも、立上げに挑んでいます。自ら進んで、建築のイロハから現地の法律まで分からない事は率先して勉強し、経験から知識を見に付けております。正直、会社にとってはリスクが高いのですが、若者に成長のチャンスを与えることは大きな意味があります。

私自身も、20歳から中国子会社に出向し、一から会社経営を学び、第2、第3工場の立ち上げを行って来ました。その海外経験と実績が、今日、私自身の大きな強みとなっております。だからこそ、若い内にどんどん海外に出て、経験を積むチャンスを与えたい。そのチャンスを掴む事の出来る社員こそ、今後の当社を担う逸材に成長すると信じております。

若者は外に出て大いに活躍し、年配者は社内を守り、会社の文化や理念を教え、若者たちのフォロー役として裏方に徹する。この2つの力を併せ持つ組織こそ、当社の強みであり、海外転換を進める大きな原動力となっております。

インドネシアの28歳の青年の言葉に、「僕は、海外で仕事ができる事を誇りに感じる。お墓に入る最後だけ、日本に帰れば良い！」そんな若者の夢を叶える会社でありたい。海外に挑戦させ、日本を誇れる若者を育てる会社でありたい。

今後も、新興国への進出は緩めるつもりはありません。むしろ、海外進出と新興国への技術の伝承、未来ある若者たちの育成こそが、当社の使命であり、ニッセイグループの挑戦でもあります。

プロフィール

稲村 学

1980年、神奈川県生まれ。99年、ニッセイエコ入社。

20歳で上海日成に出向し、同中国内に2工場（惠州日成、天津日成）を設立。

25歳で米国へ留学し会計学を勉強。帰国後、同社執行役員として海外子会社の統括、

上海日成 総経理を経て、12年6月、取締役に就任。（満32歳）



取締役 稲村 学



カプラカバー

製品案内

電気用品安全法の規定に準拠した沿面距離、空間距離を確保するため多極コネクター等の電線導入部には写真のような絶縁カバーを使用いただいています。カバーを被覆させることによりゴミ・塵の混入を防ぎ、コネクター自体の抜け止めとしても機能しております。

弊社ではディップ成形による様々なサイズを用意しており、工作機械や遊技機等の内部の端末部品に実績がございます。

カプラカバー

製品特長

- 柔軟性がありコネクターにフィットします。
電線の収束効果もございます。
- 材質：PVC (UL認定タイプも製造可能)
- 色：黒以外にも様々なタイプの色を揃えております。



装着例

～INDONESIA NOW～

インドネシアの最新情報をお届けします！

4月5日の起工式を終え、本格的インドネシア工場建設がスタートしました。

3ヶ月たった現在(7月初旬)工場外周と屋根の鉄骨組が完了し、同月中旬より屋根材張りの工事がスタート、8月初旬には床の工事着工と当初の予定通りに建築が進んでおります。

2輪・4輪市場だけでなく、全体的に経済成長しているインドネシアで、ニッセイエコも共にグローバル企業として飛躍出来るよう社員一同全力で対応しております。

(※工場引き渡し予定日は11月中旬)



海外TOPICS

海外の KAIZEN 状況

上海工場

自動牽引切断機導入

上海日成は近年、商品化理念の“品質向上、工程最適化、作業時間短縮、作業負荷低減、生産効率アップ”を一層強化しつつ、競合他社に常に優位性を持つように積極的に業務改善を取り込んでおります。

そのアクションの一環とし、2012年6月中旬に酸素カニューラ自動牽引切断機の導入致しました。今回の導入はこの先中国における酸素カニューラ市場の需要に見込みがあり、今後生産スピードを向上しながら生産コストをできるだけ抑え、かつ同時に現場作業員への作業負荷を最小にすることを最大の狙いとししました。導入した自動牽引切断機は性能が優れ、社内すべての切断製品に対応できています。工程能力は規定の長さに対する切断精度が高いだけでなく、牽引速度は80m/分の能力があり、切断能力は3000回/分の素早さがあります。

従来の生産工程では酸素カニューラが100メートル毎に切断後、透明PE材で包装されます。今回、自動牽引切断機を導入することによって、生産ラインができ製品を搬送する専用の流用箱を使えるようになりました。その結果、生産コストが減り包装費用だけで一日140元（2,000円相当）程度の節約ができています。

さらに、品質管理の検査フローの簡素化も進めております。従来、100メートル毎に包装された酸素カニューラを一度展開することになり、品質をチェックしながら切断する仕組みに対し、導入後は工程ライン上検査も切断も無理無駄なことなく流れがスムーズになり、導入前に比べて毎日平均2人分の作業量が無くなりました。



惠州工場

梱包形態の改善

惠州日成は顧客ニーズ、環境保全の需要を狙い、包装ラップと一次段ボールの使用量を減少させるように包装工程を見直し、改善致しました。

現在ではチューブグループをラップで一通り三層巻き付け、これで年間包装ラップにかかる費用は15万元（日本円にすると約200万円）にのびります。

一次使用のみ段ボールの購入価格は概算すると一箱あたり15元（200円）程度かかり、環境



保護の観点から考えますと、これは何本か樹齢20年の木を伐採することに該当します。

現在、惠州日成は特定ユーザー様向けのチューブ納品に、改革モデルとして実行性評価を行っております。採取すれば、写真に示しているようにチューブグループ納品形式は3点固定3層巻きというシンプルな荷姿になり、納品段ボールは品質の良い回収箱を使用することになります。

本方案を採用する直接的な経済効果は年間40%-65%の包装費用を節約することです。

海外人材紹介

ニッセイグループの海外で頑張っている人たちを紹介します！

張強輝 zhang qianghui (上海工場勤務)



1995年2月上海日成に入社し、創業当時より上海日成と共に成長してこられたベテラン社員です。金型部と設備修理においてプロフェッショナルなキャリアを持ち、技術力は高く評価されています。彼の仕事ぶりはすべての社員の模範となり、2010年には見事優秀社員に選ばれました。上海日成はこのような真面目な社員が多く、またそれを誇りに思い、顧客からも高い信頼と評価を頂いております。

王新付 wang xinfu (天津工場勤務)

向上心のある社員は企業生存発展には欠かせません。2011年11月天津日成に入社した彼は豊富な仕事経験を持ち、仕事の面で必要な知識を増やし積極的に吸収しようと努力しています。どんな仕事にも果敢に取り組んでおり、真面目で責任感も強いので最後までやりとげようとしています。これからの会社の発展には欠かせない存在になるでしょう。



劉 香城 Liu xiang cheng (惠州工場勤務)

2008年5月に惠州日成に入社し、スリーブ関連の勉強や検定を経て今はスリーブの班長となっています。ISO管理システムにも詳しく、2011年3月優秀班長に選ばれました。仕事の出来も非常に良く、さらなるスキルアップを目指すため、今はチューブとコルゲートの製造を勉強しております。日成グループの将来を担う優秀な人材になるでしょう。



コウン ミン トウン Khong Minh Truong (ベトナム工場勤務)

29才の若さで、すでにグループリーダー的な存在です。製品品質に対する強い責任感があり、人材育成にも力を入れています。PVCチューブ及びコルゲートチューブの製造に優れたスキルの持ち主であり、機械のメンテナンスにも詳しい人物です。常に生産性の効率化を視野に入れています。



クレスナ アドリアント Chresna Adrianto (インドネシア工場勤務)

彼は以前3年間研修生として本社に勤務しておりました。その経験を活かし、将来インドネシア工場を管理する目標を持っています。そのために常に工場全体を引っ張っていくという高いモチベーションを持ち続けています。今後は技術面だけでなく、今後はマネジメントの勉強をする為大学へ進学する予定です。彼は常に向上心を持ち、これから何をしなければいけないのかを考えながら業務にあたっております。





社内TOPICS

2012年「感謝・夢・団結」

去る6月2日に「3年後の夢計画&新入社員大歓迎会」を開催いたしました。
久方ぶりの本社工場と那須工場合同のイベントで那須工場の社員の方々は 貸切バスで駆けつけてくれました。非常に内容の濃い一日となりました。

【感謝：春季物故者慰霊祭】

昨年の秋季に続き、春季物故者慰霊祭を執り行いました。今回は真言宗の僧侶をお招きし、当社の発展に貢献された故人の方々に敬意、供養をいたしました。僧侶の読経に包まれ、厳格かつ静粛な中、社員全員で焼香を行いました。

物故者の方々に感謝し、当社のこれからの発展を祈りました。



【夢：3年後の夢計画】

関連部門毎のグループでディスカッションをし、3年後の会社の姿を共有しました。

「会社・仕事・個人」について3年後の夢計画書を作成し、数名の有志が発表をいたしました。

発表は極限発声で行われ、発表後、会長、社長、専務の叱咤激励を受けました。

この夢計画書は当社CCA室に掲示されており、いつでも計画した夢を振り返り、自己研鑽に励められます。



【団結：新入社員大歓迎会・大演芸大会】

各部署の団結・コミュニケーションの強化を図る目的で企画されました。

連日、出し物の練習が行われ、メンバーで意見を出し合い、試行錯誤しながら、一つの物を作り上げる過程が見られました。

本番は予想以上に全チームの完成度が高く、悲喜交々の中、最優秀賞は練習・本番を通じて一番思い入れがあったチームが選ばれました。





NEW STAFF

●本社勤務 第二機械部 平田さん

昨年の12月に入社致しました平田康行です。今月の19日で入社して6ヶ月になりますが、まだまだ半人前で関係者の方に多大なサポートを頂いています。得意とする分野は機械加工で主に旋盤加工を得意と致しますが、現在は機械部にて太物ピンホール検知機、チューブ先端溶着機、メヤニ検知機等の案件に携わっております。また、6月11日からはDIP自動機の製作工程を習得すべく、石井製作所にて修行中であります。自分自身の3年後の夢計画でも発表致しましたが、これから業務を推進する上のキーワードとして、スピード、カスタマーサービス（かゆい所に手が届く）という項目にこだわり、業界No.1を目指し努力したいと思っております。



ロゴマーク

早いうちから海外に積極的に進出し、タイに「ニッセイタイトレーディング」を設立した際に、この「NT」というニッセイグループのロゴマークが生まれました。今年で30年目の節目を迎え、グループ会社は26社にも増えました。さらにグループ間の結束を強めるべく本社玄関のオブジェもこのたびリニューアルいたしました。



本社入口

母の日、父の日イベント

母の日、父の日のお祝いイベントが行われました。2年目で「今年はいいよ」と言うお話もありましたが、大家族主義の息子、娘からの感謝の気持ちを抑えることはできず、毎年恒例のイベントにしていきたいと思えます。



絹代さん、みつさん、船木さん

那須：室井さん



専務、会長、社長

那須：田中顧問



編集後記

新生企画委員会になり、初めての発行です。メンバーも一新され、皆不慣れな中で、苦しみ、の末、やっと完成にこぎ着けました。今回より海外のトピックスも定例的に掲載し、グローバルな観点の内容にしていきます。よろしくお願いします。

企画委員会



◆本誌に関するお問い合わせ先

株式会社ニッセイエコ本社
神奈川県藤沢市用田475
TEL 0466-48-7572(代)
FAX 0466-48-8177

◆チューブ製品に関するお問い合わせ先

株式会社ニッセイエコ那須工場
栃木県那須塩原市四区町1540-1
TEL 0287-36-9811(代)
FAX 0287-36-9818

ホームページURL <http://www.nisseieco.co.jp>